

8月25日正午必着

明石春浦先生書

明月時至清風自來
試表游溪河の溜
道或伴法侶り
後持友人
何彼不繫舟

天氣稍和調
或伴法侶行

飛錫試春游
復投友人休

溪澗水涓涓
生涯何所似

山林鳥啾啾
汎彼不繫舟

(良寛)

明石幸子書

明月時至清風自來

明月時至清風自來 (司馬光)

明月のぼり、涼風はどこからともなく吹き来る。

喚起窓全曙 催歸日未西
無心花裏鳥 更與盡情啼

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

喚起窓全曙 催歸日未西
無心花裏鳥 更與盡情啼

(韓愈)

喚起 窓全く曙なり 催歸 日未だ西ならず
無心 花裏の鳥 更にために情を尽して啼く。

釣魚閒處(莊子)

魚を釣りにて閒處す

世塵を避けて無爲閑居すること。

風生綠葉聚 波動紫莖開
含花復含實 正待佳人來 (江洪)

風生じて綠葉聚まり 波動きて紫莖開く
花を含み復た實を含み 正に待つ佳人の來たるを

鄂北李生舍 (李洞)

鄂北の李生が舍 李洞

圭峯秋後夜 亂葉落寒虛

圭峰 秋後の夜 亂葉 寒虛に落つ

四五百竿竹 二三千卷書

四五百竿の竹 二三千卷の書

雲深猿盜栗 雨霽螳沾蔬

雲深くして猿は栗を盗み 雨霽れて螳は蔬を沾す

只隔門前水 如同萬里餘

只だ門前の水を隔つるのみ 万里余に如同す

沖つ邊の浪にむかひて 大輪のひまはり立てり 開き切りつつ

(岡本かの子)

中
散
詩
傳
畫

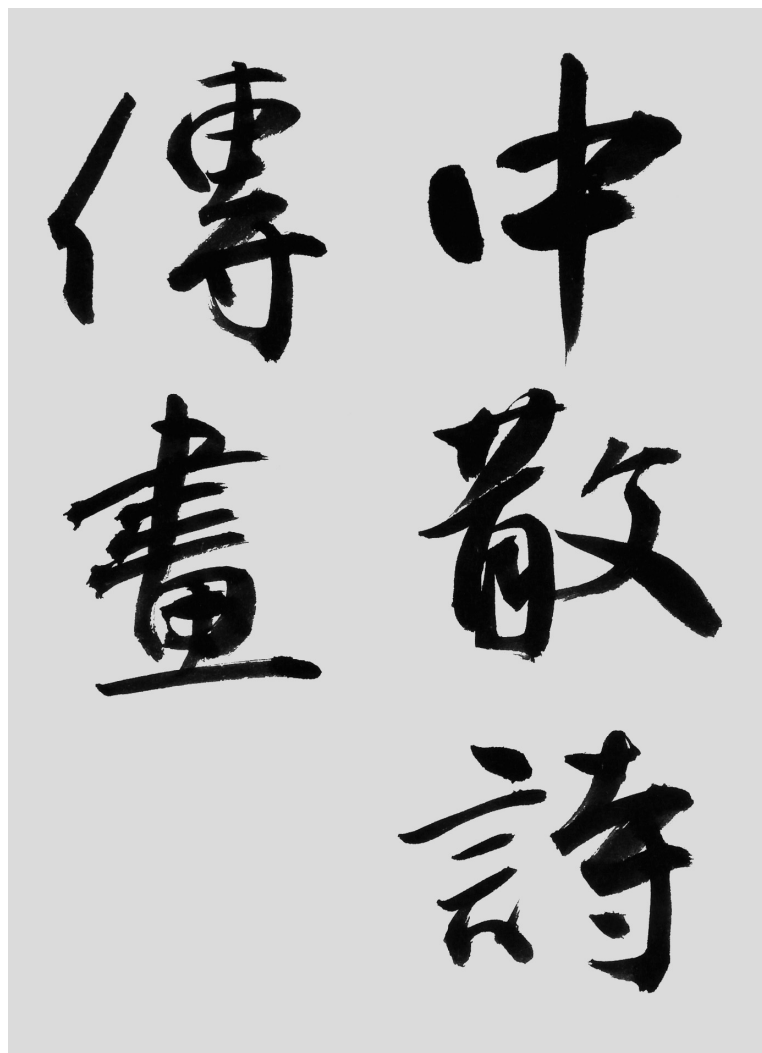
※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書



隸書



行草書

中散詩
傳畫

篆書

送曹椅

司空曙

青春三十餘
衆藝盡無如
中散詩傳畫
將軍扇賣書
楚田晴下雁
江日暖多魚
惆悵空相送
歡遊自此疎

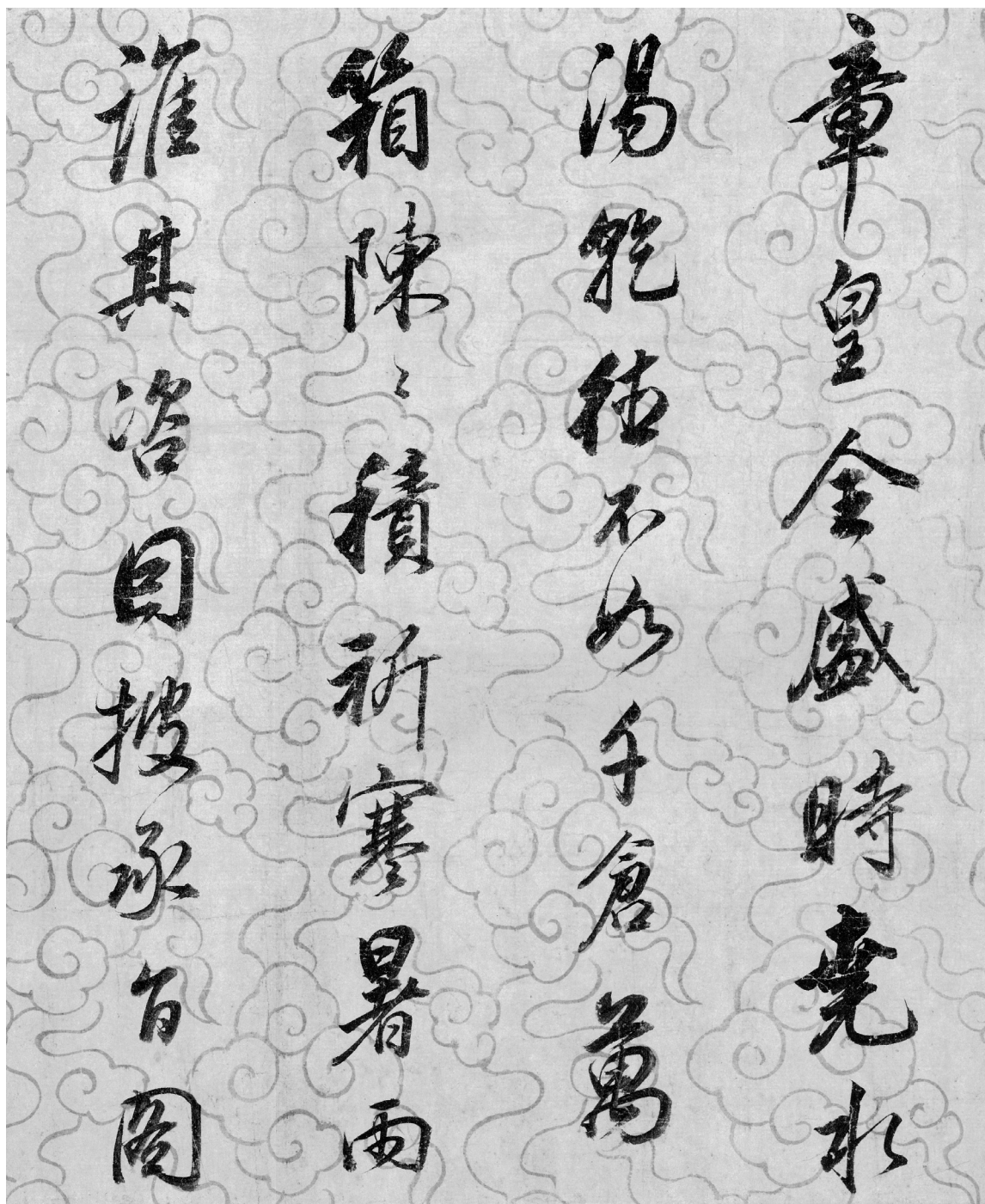
曹椅を送る

司空曙

青春三十餘
衆芸尽く如く無し
中散の詩は画を伝え
將軍の扇は書を売
楚田晴れて雁を下し
江日暖かくして魚多し
惆悵として空しく相送る
歡遊此れ自り疎ならん

齡三十余りの若さを以て 諸芸はみな及ぶものがない
嵇康のごとく、その詩は絵画に描かれて伝えられ 王羲之のごとく、扇に書かれた文字が売られる
楚の地の田野は晴れわたって雁が下りたち 江のほとりに日は暖かく、魚が数多く泳いでいる
悲しみ嘆きつつ、さびしく君を送る これからは楽しく遊ぶことはめったになかろう

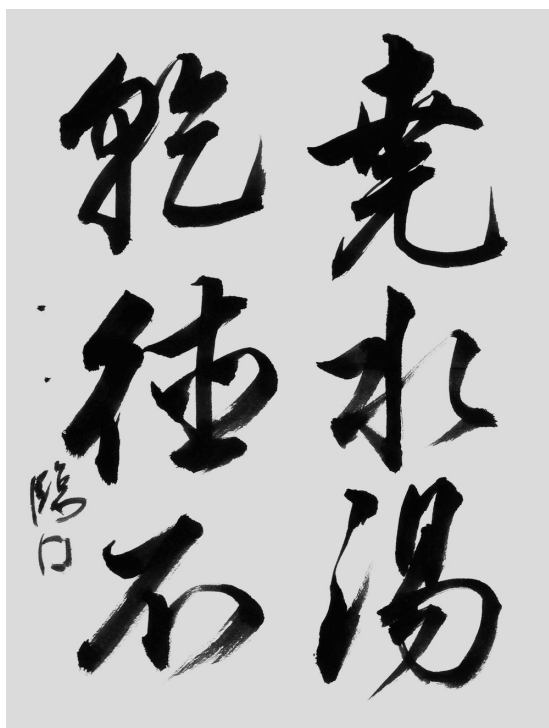
8月25日正午必着



章皇全盛時。堯水湯乾德不如。千倉萬箱陳々積。祈寒暑雨誰其咨。目披承旨圖
 章皇全盛の時、堯水、湯乾も、徳は如かず。千倉、萬箱、陳々として積み、寒暑の雨を祈るは誰にか其れ咨らん。承旨が（邪風を）図けるを披くに因り、



堯水 湯乾も 徳は如かず。千倉 萬箱 陳々として積み、寒（暑の雨）を祈るは



堯水 湯乾も 徳は如かず。

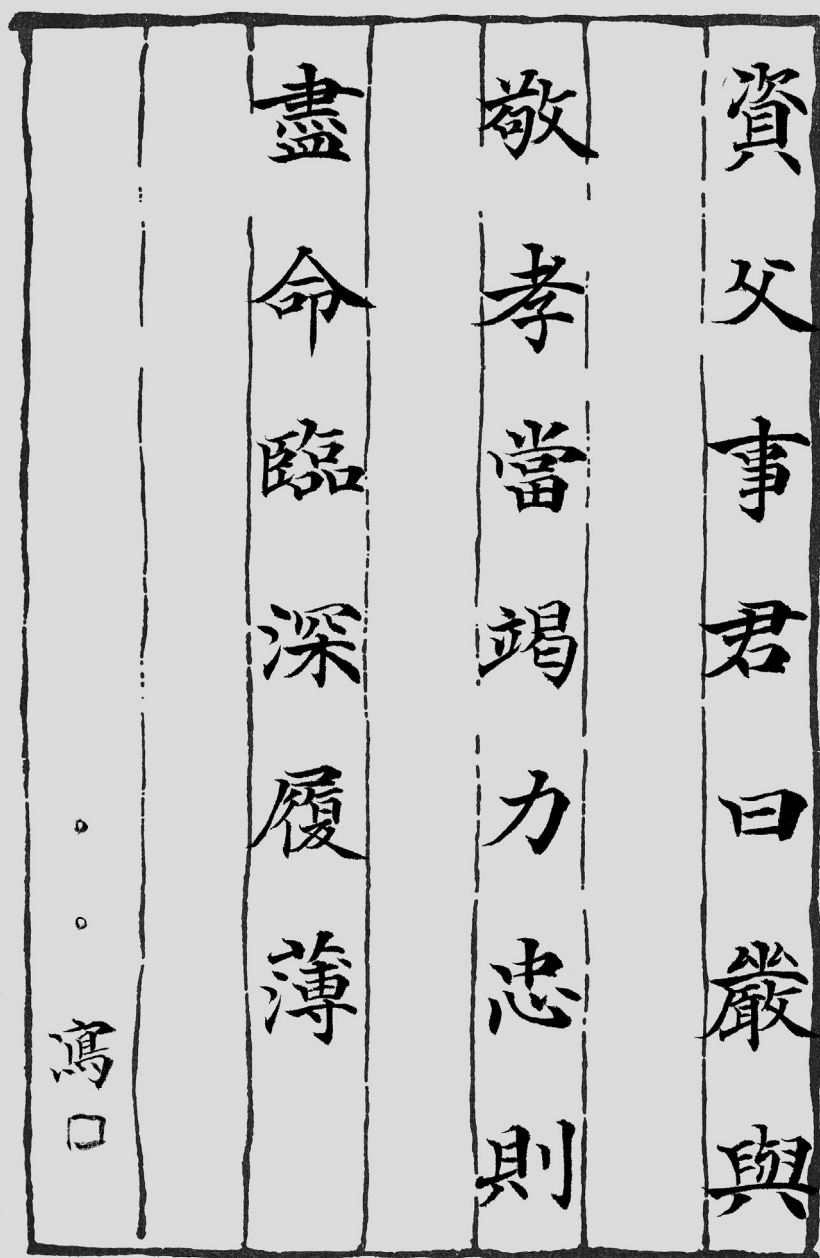
明 董其昌 邠風図詩卷

董其昌（嘉靖三十四年～崇禎九年・一五五五年～一六三六年）字は玄宰、思白・思翁・香光と号し、文敏と諡された。江蘇省松江吳華亭の人。中国明代末期に活躍した文人であり、特に書画に優れた業績を残した。

萬曆十七年（一五八九年）に科挙に合格し、翰林院庶吉士に選ばれ、その後次第に高官にのぼりつめ、ついには礼部尚書（中央行政機関の長官）に任命された。

彼の書は、はじめ法帖や碑文で顔真卿・鍾繇・王羲之に学び、歴代名家の真蹟を見てからは、書の神髄は真蹟によらねばならないと悟り、徹底してその臨模に努め、自己の体を確立していった。形似を追わず、精神を把握することに主眼を置き、みずからを率意に秀色を得ていると自負し、天真爛漫の妙を目指したとされ、ことに米芾の影響を受けたと言われている。

この書は、宮中に蔵する趙孟頫の邠風図を見て書いたもので、董其昌六十七歳にあたる。（春濤）



玄和細字用紙

※用紙サイズ…半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き(毛筆)・玄和細字用紙(25枚綴り ¥550)税込、送料別)

西 墨濤先生書

せみの聲
三にはかにとほし
尔盤可尔本
能この朝の
あらしになひく
二奈日青ざゝの群
佐（土田耕平）



松永翠舟先生書

※7月号（No.568・19ページ）の釈文に誤りがありました。訂正してお詫び致します。
「夕かたまけて…夕方になろうとして」

盛夏

せい
盛

か
夏

中学一年

雨宮春聲先生書

連峰

れん
連

ほう
峰

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



みず
水

ぎ
着

小学五年

榎戸春龍先生書



みん
民

ぞく
族

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

8月25日正午必着

北西

ほく
北

せい
西

小学三年

藤田幸春先生書

海中

かい
海

ちゅう
中

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

せ み 小学一年・幼年



森戸春濤書

はち がつ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

今日は波が高く
て
遊泳きん止だった

小学五年

真夏の強い日ざしを
浴びたひまわりの花

小学六年

海辺に築いた砂の城よ
せ来る波に消えてゆく

中学

雄大に緑の峰を突き出し
て空にそびえる夏の山

一般(級位)

時鳥ほととぎす夜ぶかき聲は月待つと起きていを寝ぬ人ぞ聞さける(凡河内躬恒) ※寝を寝ぬ…寝ない

時鳥夜ぶかき聲は月待つと
起きていを寝ぬ人ぞ聞さける

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)

また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

が	せ
	ん
き	こ
れ	う
い	は
で	な
す	び

幼 年

る	さ
	ざ
白	な
い	み
ヨ	に
ッ	ゆ
ト	れ

小学一年

に	か
と	え
び	る
こ	が
ん	池
だ	の
	中

小学二年

わ	夏
た	の
る	山
せ	に
み	ひ
の	び
声	き

小学三年

い	夏
植	山
物	に
が	は
さ	め
い	ず
て	ら
い	し

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。